

花巻歴史探訪 [郷土ゆかりの文化財編]

Trace the history of Hanamaki

▶「岳妙泉寺牛王宝印」の版木



はんぎ
版木

「岳妙泉寺牛王宝印」

格式ある寺院が発行した護符



▶ 版木から刷ったお札

◆お問い合わせ
総合文化財センター ☎29-4567

岳妙泉寺には、同じ型の「牛王宝印」の版木が2枚も残されていました。江戸時代、京都仁和寺の末寺として極めて格式の高い寺院だったので、とても人気があったようです。

また、この護符は「起請文」を書くための用紙にも使われていました。「起請文」は、「神仏に誓ってうそは申しません」という誓いを記した文書で、土地の取引や三くだり半なども起請文に書かれていたといわれています。もし約束を破った場合は、神仏により恐ろしい罰が下るといわれており、格式高い寺社の「牛王宝印」ほど効果があると考えられていました。

大迫町内川目岳にあった早池峰大権現の別当寺・岳妙泉寺に伝わる版木「駒曳き猿」(※)。実は、この版木の裏面には、不思議な字体で七つの文字が彫られています。版木を刷ると、右側に「牛王」、中央に「妙泉寺」、左側に「寶印」の文字が読み取れます。これが「岳妙泉寺牛王宝印」と呼ばれるお札です。「牛王宝印」は、お寺や神社が発行する護符のことで、家の玄関や台所などに貼られたり、旅に携行されたりして厄よけに用いられました。

※版木「駒曳き猿」は、『広報はなまき平成28年5月15日号』で紹介しました

花巻市 8月のデータ (8月31日現在)

■人口=97,240人(男46,253人、女50,987人)

■世帯数=37,005世帯

○前年同期

人口=98,244人(男46,697人、女51,547人)

世帯数=36,876世帯

※人口・世帯数について詳しくは、本庁市民登録課
(☎24-2111内線408)へ

	8月(本年累計・前年同期累計比)
■交通事故=人身事故	11件(115件・+4件)
死者	0人(5人・±0人)
負傷者	11人(132人・-23人)
■火災=火災件数	5件(34件・-8件)
焼死者	0人(2人・+2人)
■救急活動=出動件数	334件(2,594件・+84件)
搬送人員	299人(2,356人・+122人)

